

#### 4月定例山行(お花見山行)

真道山(286.5m)

江田島市能美町

4月8日(日) ☆天気:快晴

参加者:37名 CL:小川勝正 SL:熊谷陽子

三重(成) 三重(典) 円山 若木 三浦 三村 田辺 福田 川村 滝  
江本 松尾 幾久 杉山 佐々木 大坂 波平 秋信 宮木(一) 宮木(澄)  
長松 原田 西田 坂井 田所 熊谷(修) 熊谷(眞) 島田(孫:坂本 松永)  
中島(恵) 会友:中島(靖) 西本 高木 金安

コースタイム:宇品港発(9:33)→(10:05)中町港着(10:15)発→登り口発(10:30)→  
(11:45)山頂着 昼食休憩場所に少し下山 下山開始(13:30)→(14:30)  
中町港着(休憩) 中町港発(15:00)→(15:30)宇品港着

#### 報告

お花見日和の晴天のなか、広島からの高速船が予定通り中町港に到着。36名のメンバーが棧橋に降り立つ。ターミナルの横でしばらく休憩の後出発。風が少し肌寒いのが10分ほどで登り口に到着。道の脇の原っぱで自己紹介を済ませ、少しストレッチをして体の準備をし、林道を頂上に向け出発。春の季節を感じながら進むと体も温まり、衣服調整の声がかかる。相変わらずリーダーは後ろを気にせず、足は少し早い。着込んだ衣服、ヤッケを脱ぐため休憩する。

少し進むと両側に千本桜が現れる。青空に映える桜は綺麗だが少し元気がなくテングス病の影響がある。墓地の駐車場で休憩。古鷹山、呉方面の山が一望できる。下から上がってくる地元の人たちの車に注意しながら登るとあと1kmの標識。両側に視界がひらける。最後の急坂の階段を登ると頂上に着く。途中でタクシーに乗りたくいと足が

疲れていた島田さんのお孫さん松永君が最後はスイスイ登り一番乗り。さすが若さ。

頂上はすでに多くの花見客で一杯。しばらく360度の展望を楽しむ。



春霞で四国山脈は望めないが安芸灘に浮かぶ島々、江田島湾、広島市周辺の山々が望める。西田さんの三等三角点設置の説明に耳を傾ける。

頂上は狭く37人が座る場所がなく頂上より少し下った峰にシートを引き昼食とする。それぞれが持参したお花見弁当を広げお腹を満たす。持参のアルコールでのどを潤す男性陣。三浦さん自慢の巻き寿司が美味しい。宮木さん作成のツクシやフキのつまみが滝さん持参の新潟のお酒によくあう。やはり花よりダンゴだ。

温泉に入って帰る中島さん家族が13時に先に出発されるため集合写真を撮る。しばらく談笑し30分後に予定を変更し野外音楽堂に向けて下る。急な階段が続き注意して進む。例年だと野外音楽堂周辺は桜が満開だが今年はまだ蕾だ。遅れて降りてくるメンバーを待って港に向けてさらに下る。

途中の道の両側に春の草木が花をつけ目を楽しませてくれる。1時間ほどで中町港に到着。15時の船で皆は広島港へ。熊谷さんSLありがとうございました。

(記 小川勝正)